

耐衝撃性 車止め
ハイパーボラード®
NETIS登録番号：KT-210038-A

帝金株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場4-6-21
TEL 06-6252-3691 FAX 06-6252-3698
URL https://www.teikin.co.jp/

【資料請求先】東京支店（〒105-0011 東京都港区芝公園2-11-11 グラフィオ芝公園6F、TEL.03-3437-0306、FAX.03-3437-9776）



実車衝突試験の様子と製品構造イメージ



施工例（さいたま市緑区）

概要

交差点歩道部などへの車両乗り上げ事故や、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる車両暴走事故が近年多発していることを踏まえて開発された、耐衝撃性能を有するボラード（車止め）。従来の支柱内部が空洞の車止めとは異なり、支柱内部に細いパイプのユニットを内蔵する構造を採用している。「人命を守る」目的で繰り返し行った実車衝突試験により、視覚的効果によって車両侵入を「抑止」するのではなく、その高い性能で「阻止」することに成功している。また、高耐食性メッキ鋼管を使用し、その性能を長く保つことができる。

製品構造

1. ゴム製キャップ・超高輝度反射テープ

頭部をゴム製にすることで、夏場に触れても熱くないように配慮されている。また超高輝度反射テープは、ヘッドライト等を受けて明るく輝き、広角性や夜間の安全確保等にも優れている。

2. ハイパーユニット

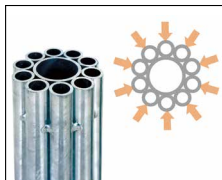
車両衝突時には内部のスクラムパイプが連続的につぶれるように変形する独自構造により、衝突エネルギーを吸収して衝撃を受け止める。同時に、車両へのエネルギー伝達も低減し、乗員への衝撃を和らげる。

3. スリーブパイル（土中式杭基礎）

先端部の特殊加工により地盤を外側に押し出すためグリップ力が強い。根巻コンクリートや養生期間がいらず、縁石と点字ブロックの間など狭小スペースにも施工可能、周辺の大掛かりな転圧不要と施工性にも優れた工程の短縮が可能。



ゴム製キャップ・超高輝度反射テープ



ハイパーユニット
それぞれのパイプが衝突エネルギーを吸収する。



スリーブパイル
先端部には特殊加工が施されている。

実車衝突試験による性能確認

「防護柵の設置基準・同解説 ボラードの設置便覧」に基づいたH型ボラード（H_C種・H_B種）の実車衝突試験では、ともに車両のすり抜けがないことが確認された。



衝突実験の様子を動画で公開中（左記二次元バーコードより）

製品ラインアップ

- ・スタンダード（土中式杭基礎）タイプ
- ・コンクリート独立基礎タイプ
- ・ゴム製カバー（土中式杭基礎）タイプ
- ・横型（土中式杭基礎）タイプ
※コンクリート独立基礎タイプもあり。詳細は要問い合わせ。
- ・超耐衝撃性タイプ

施工状況



打込機によるスリーブパイルの打設



スリーブパイル設置完了



ハイパーユニットの挿入

※ストライカーを用いたガードレール支柱を建て込む施工方法も推奨。